その他の便利な機能

＜マルチアクセス＞
マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話・パケット通信・SMSの3回線を同時に使用できる機能です。
画面を切り替えるときはMULTIを1秒以上押すか、MULTIを押してタスクメニューから切り替えます。(P.333参照)
マルチアクセスの組み合わせパターンについての詳細は、P.418参照。

音声電話	1回線
ｉモード、ｉアプリ、ｉモードメール、パソコンをつないだパケット通信	1回線
SMS	1回線

お知らせ
- マルチアクセス中は、それぞれの通信回線について通信料金がかかります。

ｉモード中・パケット通信中に音声電話をかける

ｉモードやパケット通信を終了せずに音声電話をかけることができます。

1 **ｉモード中・パケット通信中▶MULTI▶待受画面**
待受画面が表示されます。

2 **電話をかける**
- ｉモード中にテレビ電話をかけると、ｉモード接続を切断し、テレビ電話の発信を行います。
テレビ電話を終了すると、ｉモードの画面に戻ります。

ｉモード中・パケット通信中に音声電話を受ける

ｉモードやパケット通信を終了せずに音声電話を受けることができます。

1 **電話がかかってくると電話着信画面が表示される▶(☎)で電話に出る**
- 電話に出ないでｉモードやパケット通信の画面に戻るにはMULTIを1秒以上押します。もう一度MULTIを1秒以上押すと電話着信画面に戻ります。
相手にはメッセージは流れず、呼出中になります。

音声電話中に他の通信を利用する

音声電話を終了せずにｉモードやメールの送受信などができます。

1 **音声電話中▶MULTI▶MENU(Menu)**
アイコンを選択して各機能の操作を行います。

お知らせ
- 通話中にメールやメッセージR/Fを受信した場合、「受信表示設定」の設定に関わらず、着信音は鳴らず、着信イルミネーションも点滅しません。

お知らせ
- 「受信表示設定」を「通知優先」に設定しているときは、以下の場合を除いて、着信音が鳴り受信結果画面が表示されます。
  ・通話中　　・カメラ起動中
  ・ｉアプリ待受画面に設定したｉアプリを通常のｉアプリとして実行中
- パソコンをつないだパケット通信を利用する場合は、音声電話中にパソコンから発信操作を行います。

＜マルチタスク＞
マルチタスクについて

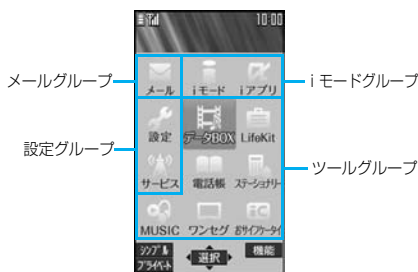
FOMA端末は、メニュー機能(P.31参照)など最大3つの機能を同時に使用できる「マルチタスク」に対応しています。マルチアクセスとマルチタスクを組み合わせることにより、次の機能を同時に使えます。
(マルチタスクの組み合わせパターンについては、P.419参照)

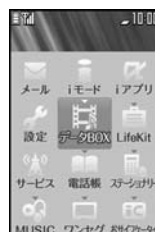
■メールグループ
ｉモードメール機能、SMS機能

■ｉモードグループ
メインメニューの「ｉモードグループ」内のメニュー機能

■設定グループ
メインメニューの「設定グループ」内のメニュー機能

■ツールグループ
メインメニューの「ツールグループ」内のメニュー機能

■その他グループに属さない機能
音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信など

新しい機能を実行する

1 **各種機能を実行中▶MULTI▶MENU(Menu)▶新しい機能を実行**
使用中のグループのアイコンには「▽」などが付きます。
使用している機能が1つのときは「▱」のアイコンが表示されます。複数の機能を使用中は「▱」のアイコンが表示されます。

ツールグループの機能を実行中の場合

■すでに同じグループのメニュー機能が呼び出されているときは

機能を切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると元のメニュー機能は終了し、新しいメニュー機能が呼び出されます。

お知らせ

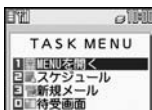
- 通話中に他の機能を同時に使っている間でも、通話料金は加算されます。
- 他の機能が起動中に着信があった場合、正しく着信動作しないことがあります。その場合、「伝言メモ」や「転送でんわサービス」などが設定した呼出時間よりも短い時間で動作することがあります。
- 処理負荷の高い機能を実行中にマルチタスクで機能を切り替えた場合、表示などの動作に遅れが発生することがあります。

画面を切り替える

複数のメニュー機能が起動しているときは、MULTIを1秒以上押すことで画面を切り替えることができます。最近選択したものから新しい順で切り替わります。

■使用中のメニュー一覧を表示するには

MULTIを押します。

一覧からメニューを選択して切り替えることができます。また、「MENUを開く」を選択するとメインメニュー、「待受画面」を選択すると待受画面を表示できます。

お知らせ

- MULTIで画面を切り替えても、起動中のメニュー機能が終了したり、電話が切れたりすることはありません。また、文字入力画面（P.356参照）から他のメニューに切り替え、そのメニューで文字編集などを行っても、タスクを切り替えれば、元の文字編集を続けることができます。
- 他のメニュー機能が起動していない場合は、待受画面でMULTIを1秒以上押すと「3G/GSM切替」の設定画面が表示されます。

機能を終了する

メニュー機能の画面が表示されている状態で☎を押すと、そのメニュー機能が終了します。

- タスクメニューで（END）を押し、「YES」を選択するとメニュー機能がすべて終了し、待受画面に戻ります。
- バックグラウンド再生中の待受画面で☎を押すと、メニュー機能を終了するかどうかの確認画面が表示されます。

＜音声読み上げ＞

着信やメールの内容を音声で知らせる

着信を着信音の代わりに音声で知らせたり、メールの内容を自動で読み上げるように設定できます。また、ボイスダイヤルやボイス検索の操作を音声ガイダンスで案内します。

音声読み上げ設定

1 **MENU▶設定▶その他▶ボイス設定▶音声読み上げ設定▶ON・OFF▶読み上げたい項目にチェック▶✉（完了）**

ボイスダイヤル
. . . ボイスダイヤル呼出の操作を音声ガイダンスで案内します。

ボイス検索
. . . ボイス検索の操作を音声ガイダンスで案内します。

電話着信
. . . 音声電話をかけてきた相手の情報を着信中に音声でお知らせします。

テレビ電話着信
. . . テレビ電話をかけてきた相手の情報を着信中に音声でお知らせします。

メール／メッセージ受信
. . . メールやメッセージR/Fの受信時に件数を音声でお知らせします。「メール／メッセージ鳴動」の設定は無効になります。

送受信メール一覧表示
. . . メール一覧画面で送信元／宛先、題名などを読み上げます。

送受信メール詳細表示
. . . メール詳細画面で送信元／宛先、題名、本文などを読み上げます。「開封時メロディ再生設定」を「自動再生する」に設定中で、メロディが自動再生された場合は読み上げません。

メールプレビュー
. . . プレビュー表示の画面で宛先、本文などを読み上げます。

- いずれかのボタンを押すとメールの音声読み上げを途中で止めることができます。ただし、画面をスクロールした場合は、音声読み上げは継続されます。
- ワンセグの音声が流れているときや、microSDメモリーカードに保存しているメールを表示したときは、メールの音声読み上げは行いません。

音声読み上げ音量

1 **MENU▶設定▶その他▶ボイス設定▶音声読み上げ音量▶〇で音量を調節**

音声読み上げ速度

1 MENU▶**設定**▶**その他**▶**ボイス設定**▶**音声読み上げ速度**▶**速度を選択**

音声読み上げ出力先

音声読み上げ時に鳴る音を、スピーカーから鳴るようにするか受話口に耳をあてて聞くようにするかを設定します。

1 MENU▶**設定**▶**その他**▶**ボイス設定**▶**音声読み上げ出力先**▶**スピーカー・受話口**

お知らせ

- 「受話口」に設定していても、「電話着信」「テレビ電話着信」「メール／メッセージ受信」はスピーカーから音が鳴ります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続すると、「イヤホン切替設定」の設定に従って音が鳴ります。ただし、「音声読み上げ出力先」を「受話口」に設定し、「イヤホン切替設定」を「イヤホン＋スピーカー」に設定した場合は、「電話着信」「テレビ電話着信」「メール／メッセージ受信」以外はイヤホンからのみ音が鳴ります。
- ハンズフリー対応機器からは「電話着信」「テレビ電話着信」のみ音声読み上げを行う場合があります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを押しても音声読み上げが止まらない場合があります。

音声読み上げ有効設定

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときのみ音声読み上げを行うように設定します。

1 MENU▶**設定**▶**その他**▶**ボイス設定**▶**音声読み上げ有効設定**▶**標準・イヤホン接続時のみ**

標準 . . .常に音声読み上げを行います。

イヤホン接続時のみ
. . . . . . .平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しているときのみ音声読み上げを行います。

お知らせ

- 「イヤホン接続時のみ」に設定しているときは、音声読み上げ中に平型スイッチ付イヤホンマイクを外しても音声読み上げが継続されます。また、平型スイッチ付イヤホンマイクを外しているときに着信などがあった場合は、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しても、音声読み上げは行いません。

■音声読み上げのルールについて

電話帳やメールなどの内容は、おおむね次のルールに基づいて読み上げられます。

- 使用する機能によっては、各ルールとは異なって読み上げる場合があります。

＜数字＞

- 数字が並んでいる場合は、16桁まで桁読みします。ただし、先頭に「0」がある場合やURL、メールアドレスと判定された場合は、数字を読み上げます。
- 数字を「/」や「.」で区切ると、日付として読み上げます。
- 「1日」は日付とそれ以外で読みが異なります。「1日」以外は常に日付と同様に読み上げます。
- 数字を「:」で区切ると、時刻として読み上げます。
- 電話番号や郵便番号は「－」「(」「)」は読み上げず、数字だけを読み上げます。
- 数字の先頭に「￥」「＄」「￠」「￡」がある場合は、金額として読み上げます。「,」が使用されている場合は、3桁ごとに区切られていなければ「,」より前を金額、あとを数字と判定します。
- 「(数字)分の(数字)」は分数として読み上げます。

＜英字＞

- FOMA端末に内蔵されている音声読み上げ用の辞書に従って読み上げます。
- 4文字以上でローマ字読みできる場合は、ローマ字読みで読み上げます。
- 数字のあとに英字がある場合は、単位として読み上げるものもあります。
- 日付の前にある「M」「T」「S」「H」は年号に変換して読み上げます。
- 上記の条件以外の場合は、アルファベット読みで読み上げます。

＜記号＞

- 「記号一覧表」に従って読み上げます。ただし、同じ記号が3つ以上続く場合は、その記号を読み上げません。
- 以下の文字列は「ヘンシン」と読み上げます。「Re:」「Re>」「Re2:」「Re2>」「Re2＊」
- 以下の文字列は「テンソー」と読み上げます。「Fw:」「Fw>」「Fw2:」「Fw2>」「Fw2＊」「Fwd:」「Fwd>」「Fwd2:」「Fwd2>」「Fwd2＊」
- 「ヘンシン」「テンソー」が複数連続する場合は、1回のみ読み上げます。

＜絵文字＞

- 「絵文字一覧表」に従って読み上げます。

＜顔文字＞

- FOMA端末に内蔵されている音声読み上げ用の辞書に従って顔文字を読み上げます。ただし、URLやメールアドレスと判定した場合は、記号として読み上げます。

＜その他＞

- 句読点や「！」「？」などがある場合は、区切って読み上げます。
- 曜日を表す漢字が「(」「)」ではさまれている場合は、曜日として読み上げます。
- 文章の内容や記載の内容（特に地名や固有名詞など）により、正しく読み上げが行われない場合があります。

＜自動電源ON／OFF設定＞

指定した時刻に自動的に電源を入れる／切る

1 MENU▶**設定**▶**時計**▶**自動電源ON／OFF設定**▶**自動電源ON・自動電源OFF**▶**項目を選択**

OFF . . 自動電源ON／OFFを設定しません。設定が終了します。

1回 . . . 設定した時刻に1回のみ電源をON／OFFします。

毎日 . . . 設定した時刻に毎日電源をON／OFFします。

2 **時刻を入力**

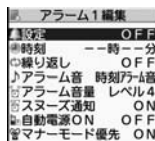
お知らせ

- 「自動電源ON」と「自動電源OFF」を同時刻に設定した場合、設定した時刻になったときにFOMA端末の電源が切れていると電源が入り、FOMA端末の電源が入っていると電源が切れます。
- アラームやスケジュールアラームなどと同時刻に「自動電源OFF」を設定すると、アラームやスケジュールアラームなどが優先されます。
- 「自動電源OFF」を設定しても、待受画面以外を表示中に指定した時刻になった場合は電源は切れません。起動中のそれぞれの機能を終了したあと、電源が切れます。なお、待受画面にFlash画像を設定すると、Flash画像が動いている間は電源が切れないことがあります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」を「OFF」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

＜アラーム＞

アラームを利用する

設定した時刻になるとアラーム音とアニメーション、イルミネーションでお知らせします。5件まで登録できます。

1 MENU▶**ステーショナリー**▶**アラーム**▶**アラームを選んで**✉（編集）▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
（設定）	アラームの有効／無効を設定します。 ▶**ON・OFF**
（時刻）	▶**アラームを鳴らす時刻を入力** ●すでに設定されているアラームと同じ時刻は設定できません。
（繰り返し）	▶**繰り返しの種類を選択** ●「設定なし」を選択した場合は、アラームを繰り返しません。 ●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて✉（完了）を押します。
（アラーム音）	▶**アラーム音の種類を選択** ▶**フォルダを選択**▶**アラーム音を選択**
（アラーム音量）	▶**で音量を調節** ●「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
（スヌーズ通知）	スヌーズ通知するかどうかを設定します。スヌーズ通知しない場合は、アラーム音が鳴り続ける時間を設定します。 ▶**ON・OFF**▶**鳴動時間（分）を入力** ●「01」～「10」の2桁を入力します。 ●スヌーズ通知の動作についてはP.336参照。
（自動電源ON）	電源を切っているときにアラーム時刻になった場合、自動的に電源をONにしてアラーム通知するかどうかを設定します。 ▶**電源ONする・電源ONしない**
（マナーモード優先）	マナーモード中のアラーム音量について設定します。 ▶**ON・OFF** ON . . . P.103「アラーム音量」に従って音が鳴ります。 OFF . . 本機能で設定した音量で音が鳴ります。

つづく

2 ✉(完了)を押す

●設定により、画面に以下のアイコンが表示されます。
Ⓓ:毎日繰り返し
Ⓦ:曜日指定繰り返し

アラーム表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	P.335「アラームを利用する」手順1へ進みます。
詳細表示	アラームの登録内容を表示します。
1件ON	登録済みのアラームを有効にします。 ▶YES ●◉(ON)を押しても有効にできます。
全件ON	登録済みのアラームをすべて有効にします。 ▶YES
1件OFF	登録済みのアラームを無効にします。 ▶YES ●◉(OFF)を押しても無効にできます。
全件OFF	登録済みのアラームをすべて無効にします。 ▶YES

お知らせ

●通話中にアラームが鳴ったときはいずれかのボタンを押すとアラーム音を止めることができます。もう一度いずれかのボタンを押すとスヌーズを含めてアラームが終了します。通話中の相手が電話を切った場合は、スヌーズを含めてアラームが終了します。
●通話中のアラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
●スヌーズ中に以下の動作が発生した場合、スヌーズは解除されます。
・音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があった場合
・「受信表示設定」を「通知優先」に設定しているときにメールやメッセージR/Fを受信した場合
・「位置提供設定」やサービスごとの利用設定を「OFF」以外に設定しているときに、位置提供の要求を受信した場合
・「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴った場合
●自動的に電源をONにしてアラームを通知する場合、FOMAカード動作制限機能が設定されたアラーム音が選択されていると、お買い上げ時のアラーム音が鳴ります。
●高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ自動電源の設定を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

■「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームを設定したときは

デスクトップにアイコンが表示されます。
「🔔」. . . . 当日の設定(過ぎた時刻の設定は除く)がある場合に表示されます。
「🔔」. . . 明日以降の設定のみの場合に表示されます。
●「画面表示設定」→「時計」→「時計表示」を「OFF」に設定した場合や、スケジュール・ToDoの「アラーム通知」を「通知しない」に設定して登録した場合は、アイコンは表示されません。

■「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」で設定した時刻になったときは

アラーム音が約5分間(「アラーム」は設定した時間)鳴り、イルミネーションが点灯します。また、「バイブレータ」の「電話」で設定した動作で振動してお知らせします。画面には、設定したアラームメッセージと選択したアイコンに連動したアニメーションまたはｉモーションが表示されます。

●アラームの「スヌーズ通知」を「ON」に設定したときは☎を押してスヌーズを解除するまで約5分おきに約1分間、最大6回アラーム音が鳴ります。

●通話中は
受話口からアラームが3回繰り返し鳴ります。

●操作中は
「アラーム通知設定」の設定に従って動作します。(P.341参照)

●アラーム通知の設定を同じ時刻にしたときは
「アラーム」→「録画予約」→「ToDo」→「スケジュール」→「視聴予約」の優先順位で通知します。通知できなかったスケジュールまたはToDoについては「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。

●電源OFFのときは
<アラーム>
自動電源の設定を「電源ONする」に設定している場合は、自動的に電源をONにしてアラーム通知します。「電源ONしない」に設定している場合は、電源はOFFのままでアラーム通知しません。電源をONにしたあとも「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。
<スケジュール・ToDo>
アラーム通知はしません。
電源をONにしたあとも「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。

●マナーモード中は
バイブレータとイルミネーションの点灯でお知らせし、スケジュール・ToDoの場合はメッセージも表示します。アラーム音量についてはマナーモードの設定に従って動作します。(P.103参照)

●オールロック中、パーソナルデータロック中、おまかせロック中は
アラーム通知はしません。
各ロックの解除後に「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。また、電源もOFFにしていたときは、電源はONにならず、各ロックの解除後も「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。

●SD-PIM動作中、赤外線通信中、iC通信中は
アラーム通知はしません。
各機能の終了後に「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。

●ソフトウェア更新中は
アラーム通知はしません。
書き換え中に設定した時刻になった場合は、ソフトウェア更新終了後も「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。

お知らせ

●「アラーム通知設定」を「通知優先」に設定している場合、発信中にアラーム時刻になったときは相手を呼び出したあとに、着信中にアラーム時刻になったときは通話を開始したあとにお知らせします。
●ｉモーション／着うたフル®によってはアラーム音に設定できない場合があります。
●アラーム音に設定したｉモーションによってはアラーム通知時に音声のみが再生される場合があります。
●着うたフル®をアラーム音に設定した場合は、アラーム通知時に音声のみが再生されます。
また、アラーム音選択時のデモ再生時とアラーム通知時のイルミネーションが異なる場合があります。

■アラーム音／アラームメッセージ・アニメーション／ｉモーションの表示を消すには

いずれかのボタンを押せばアラーム音は停止しますが、アニメーション／ｉモーションは静止画になり、アラームメッセージは表示されたまま残ります。もう一度いずれかのボタン(アラームの「スヌーズ通知」を「ON」に設定した場合は(☎))を押すと消せます。ただし、FOMA端末を閉じているときは、サイドボタンでスケジュールやToDoのアラームメッセージの表示は消せません。また、電話がかかってきたときはアラームは停止します。

■「アラーム通知」がされなかったときは

デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されます。そのアイコンから通知できなかったアラームの内容(未通知アラーム情報)を確認できます。
未通知アラーム情報は通知できなかった最新のものを表示します。

<スケジュール> MENU 4 5

カレンダーでスケジュールを管理する

1ヶ月単位または1週間単位でカレンダーを表示し、登録したスケジュールを確認できます。
2000年1月1日から2037年12月31日まで表示・登録できます。
●アラーム通知の動作についてはP.336参照。

スケジュールを登録する

指定した日付・時刻になるとアラーム音やイルミネーション、アラームメッセージ(スケジュールの要約や内容)および設定したアイコンに対応したアニメーションで用件をお知らせします。
スケジュールは1000件まで登録できます。

1 **MENU▶ステーショナリー▶スケジュール▶✉(新規)▶スケジュール▶以下の操作を行う**

項目	操作・補足
(要約)	▶アイコンを選択 ●アラーム通知のとき、選択したアイコンに対応したアニメーションが表示されます。 ▶スケジュール要約を入力 ●全角20文字/半角40文字まで入力できます。 ●あらかじめアイコンに応じた要約が入力されています。
(終日)	開始日時や終了日時を入力しない、一日中のスケジュールにするかどうかを設定します。 ▶終日なし・終日あり ●「終日あり」に設定すると、午前0時にアラーム通知されます。
(開始日時)	▶スケジュールを開始する日付、時刻を入力
(終了日時)	▶スケジュールを終了する日付、時刻を入力
(繰り返し)	▶繰り返しの種類を選択 ●「設定なし」を選択した場合は、スケジュールを繰り返しません。 ●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて✉(完了)を押します。 ●繰り返す設定にしたスケジュールも1件としてカウントされます。

つづく

項目	操作・補足
(アラーム通知)	▶通知方法を選択 通知する……開始日時に設定した時刻に通知します。通知の設定が終了します。 事前通知する…設定した事前通知時刻にのみ通知します。 通知しない……通知しません。通知の設定が終了します。 ▶何分前に通知するかを入力 ●「01」～「99」の2桁を入力します。
(アラーム音)	▶アラーム音の種類を選択 ▶フォルダを選択▶アラーム音を選択
(内容)	▶スケジュール内容を入力 ●全角256文字/半角512文字まで入力できます。

2 ✉(完了)を押す

●設定により、画面に以下のアイコンが表示されます。

- :アラームでお知らせ
- D:毎日繰り返し
- W:曜日指定繰り返し
- M:毎月繰り返し
- Y:毎年繰り返し

■同じ日時に2つのスケジュールを設定しようとしたときは

同時刻に設定できるのは「繰り返し」を「設定なし」と「毎日／曜日指定／毎月／毎年」に設定した組み合わせだけです。2つのスケジュールがともに「設定なし」またはともに「毎日／曜日指定／毎月／毎年」の場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「設定なし」のスケジュールと「毎日／曜日指定／毎月／毎年」のスケジュールの場合は、「設定なし」が優先される旨の確認画面が表示されます。

お知らせ

- 「開始日時」に29日以降の日付を入力し、「繰り返し」を「毎月」に設定した場合、該当の日がない月では月末の日にスケジュールが設定されます。
- 「開始日時」にうるう年の2月29日を入力し、「繰り返し」を「毎年」に設定した場合、うるう年でない年では2月28日にスケジュールが設定されます。
- 通常のモード(「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外)では、シークレットデータとして登録したスケジュールは、アラーム通知時にシークレットのアニメーションが表示されます。アラームメッセージは表示されません。
- 待受中のときは、「着信音量」の「電話」で設定した音量でアラーム音が鳴ります。また、通話中のアラーム音は、「受話音量」で設定した音量になります。

休日・記念日を登録する

休日と記念日は1日1件ずつ、それぞれ100件まで登録できます。

1 MENU▶ステーショナリー▶スケジュール▶✉(新規)▶休日・記念日▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
(日付)	▶日付を入力
(繰り返し)	▶繰り返しの種類を選択 ●「設定なし」を選択した場合は、休日・記念日を繰り返しません。 ●繰り返す設定にした休日・記念日も1件としてカウントされます。
(内容)	▶休日または記念日の内容を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。

2 ✉(完了)を押す

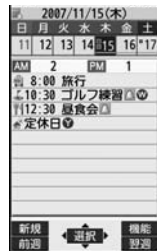
●設定した休日( )・記念日( )が登録されます。

Y:毎年繰り返し

スケジュールの内容を確認する

スケジュール、休日または記念日の内容を確認します。

1 MENU▶ステーショナリー▶スケジュール

カレンダー画面(1ヶ月表示)

カレンダー画面(1週間表示)

カレンダー画面が表示されます。

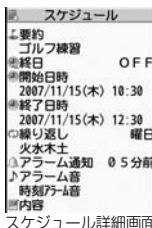
- 当日や選択されている日付は反転表示され、画面の下にその日の登録件数や登録内容が表示されます。
- カレンダー画面の表示
  - ■(青色):午前のスケジュール
  - ■(橙色):午後のスケジュール
  - ＿:2日以上にわたるスケジュール
- 休日は赤色、記念日は赤丸で囲んで表示されます。
- 1ヶ月表示でMENU(前月)、📷(翌月)を押すと前後の月のカレンダーが表示されます。1週間表示でMENU(前週)、📷(翌週)を押すと前後の週のカレンダーが表示されます。

2 日付を選択

選択した日付のスケジュールの一覧が表示されます。

スケジュール一覧画面

3 スケジュール、休日または記念日を選択

スケジュール詳細画面

お知らせ

●祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律(平成17年法律第43号までのもの)」に基づいています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります。(2008年3月現在)

カレンダー画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
新規登録	▶**項目を選択** **スケジュール** . . . . P.337手順1へ進みます。 **休日** . . . . P.338「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。 **記念日** . . P.338「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。
1ヶ月表示・1週間表示	カレンダー画面の表示を切り替えます。 ▶**1ヶ月表示・1週間表示**
アイコン別表示	▶**表示したいアイコンを選択** 選択したアイコンで登録されているスケジュールの一覧が表示されます。 ●スケジュールを選択すると詳細が表示されます。
登録件数確認	スケジュール、休日、記念日の件数を表示します。シークレットモード、シークレット専用モード中は、シークレットデータとして登録されているスケジュールの件数を表示します。
デスクトップ貼付	P.114参照
赤外線全件送信	P.305参照
iC全件送信	P.307参照

機能メニュー	操作・補足
前日まで削除	選択した日付の前日までのスケジュールや休日、記念日を削除します。 ▶**削除したい項目を選択**▶**YES**
全削除	すべてのスケジュールや休日、記念日を削除します。 ▶**端末暗証番号を入力** ▶**削除したい項目を選択**▶**YES** ●休日をすべて削除すると、祝日の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。
祝日リセット	削除した祝日をお買い上げ時の初期状態に戻します。休日はリセットされません。 ▶**YES**

お知らせ

<アイコン別表示>

●アイコン別表示では、繰り返す設定にしたスケジュールは1件として表示されます。日付は、今後のスケジュールの中で最も近い日付が表示されます。

スケジュール一覧画面・スケジュール詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
新規登録	▶**項目を選択** **スケジュール** . . . . P.337手順1へ進みます。 **休日** . . . . P.338「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。 **記念日** . . P.338「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。 ●スケジュール一覧画面で[✉]([新規])を押しても新規登録できます。
編集	スケジュールはP.337手順1へ進みます。休日と記念日はP.338「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。 ●スケジュール詳細画面で[●]([編集])を押しても編集できます。 ●祝日は編集できません。
コピー	スケジュール、休日または記念日をコピーして別の日付に登録します。 ▶**貼り付け先の日付、時刻を入力** スケジュールはP.337手順1へ進みます。休日と記念日はP.338「休日・記念日を登録する」手順1へ進みます。 ●コピー元の「繰り返し」が「毎日／曜日指定／毎月／毎年」に設定されていても、貼り付け先では「設定なし」に変更されます。 ●祝日はコピーできません。
カレンダー表示	アイコン別表示からカレンダー表示に戻ります。アイコン別表示中のみ操作できます。
アイコン別表示	P.339参照

つづく

機能メニュー	操作・補足
シークレット設定・シークレット解除	スケジュールをシークレットに設定／解除します。 ▶YES ●通常のモード(「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外)で「シークレット設定」を選択した場合、端末暗証番号を入力します。
iモードメール作成	スケジュールの日付と内容が本文に入力されたiモードメールを作成します。 P.172手順2へ進みます。
iモードメール添付	スケジュールをiモードメールに添付して送信します。 P.172手順2へ進みます。 ●スケジュール詳細画面で[✉]([✉])を押してもiモードメールに添付できます。
赤外線送信	P.305参照
赤外線全件送信	P.305参照
iC送信	P.306参照
iC全件送信	P.307参照
microSDへコピー	P.295参照
1件削除	▶YES ●繰り返す設定にしたスケジュール、休日または記念日を削除した場合、繰り返しデータがすべて削除されます。 ●祝日は「1件削除」でのみ削除できます。
前日まで削除	P.339参照
選択削除	▶削除したいスケジュールにチェック▶[✉]([完了])▶YES
全削除	スケジュール、休日または記念日をすべて削除します。アイコン別表示中のみ操作できます。(P.339参照)

<ToDo> [MENU][9][5]

ToDoでスケジュールを管理する

予定をリストで管理し、設定の時刻にアラームでお知らせします。ToDoを100件まで登録してスケジュールを管理できます。

●アラーム通知の動作についてはP.336参照。

1 **[MENU]▶ステーショナリー▶ToDo▶[✉]([新規])▶以下の操作を行う**

●登録済みのToDoを選択すると登録内容を確認でき、[●]([編集])を押すと編集できます。

項目	操作・補足
(内容)	▶ToDo内容を入力 ●全角100文字/半角200文字まで入力できます。
(期日)	▶項目を選択 **直接入力** ...... 期日(期限)を直接入力します。 **カレンダーから入力** ...... カレンダーから期日(期限)を選択します。期日を確認し、[●]([確定])を押します。 **なし** ... 期日(期限)を設定しません。アラーム通知しません。
優(優先度)	▶優先度を選択 ●期日順でソートしたときに、同一日付の場合優先度の高い順に表示されます。
(カテゴリー)	▶カテゴリーを選択
(アラーム通知)	▶通知方法を選択 **通知する** ...... 設定した時刻になるとアラームで通知します。通知の設定が終了します。 **事前通知する** .. 設定した事前通知時刻にのみ通知します。 **通知しない** .... 通知しません。通知の設定が終了します。 ▶何分前に通知するかを入力 ●「01」～「99」の2桁を入力します。
♪(アラーム音)	▶アラーム音の種類を選択 ▶フォルダを選択▶アラーム音を選択

2 **[✉]([完了])を押す**

高：優先度高い
低：優先度低い

●内容を入力していない場合、「[完了]」は表示されず登録できません。

ToDo表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
新規登録	P.340手順1へ進みます。
編集	P.340手順1へ進みます。 ●ToDoの状態が「完了」に設定されていて「完了日」を編集する場合は、「[完]」を選択し、P.340手順1「期日」と同様の操作を行います。
状態	ToDoの一覧では設定した状態が状態アイコンで表示されます。 ▶状態を選択 ●状態アイコンは、期日を過ぎると青色から赤色に変わります。 ●「完了」を選択した場合は、P.340手順1「期日」と同様の操作を行います。

機能メニュー	操作･補足
カテゴリー別表示	▶カテゴリーを選択 ●ToDoを選択すると詳細が表示されます。
ソート／フィルタ	並べ替えて表示します。また、状態別にも表示できます。 ▶表示したい順番や状態を選択
デスクトップ貼付	P.114参照
iモードメール添付	ToDoをiモードメールに添付して送信します。 P.172手順2へ進みます。 ●ToDoの登録内容を確認中に(✉)(✉)を押してもiモードメールに添付できます。
赤外線送信	P.305参照
赤外線全件送信	P.305参照
iC送信	P.306参照
iC全件送信	P.307参照
microSDへコピー	P.295参照
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいToDoにチェック ▶(✉)(完了)▶YES
完了済み削除	状態が「完了」に設定されているToDoを削除します。 ▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

●待受中のときは、「着信音量」の「電話」で設定した音量でアラーム音が鳴ります。また、通話中のアラーム音は、「受話音量」で設定した音量になります。

＜アラーム通知設定＞

アラームで通知するときの状況を設定する

他の機能を操作中に「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」のアラーム通知をするかどうかを設定します。

1 (MENU)▶**設定**▶**時計**▶**アラーム通知設定**▶**操作優先･通知優先**

操作優先 . . .アラーム通知は待受画面表示中にだけ行われます。

通知優先 . . .FOMA端末を操作しているときや通話中もアラーム通知を行います。

お知らせ

●アラーム通知ができなかったときは、デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されます。

＜プライベートメニュー設定＞

オリジナルのメニューを使う

よく使う機能を「プライベートメニュー」に登録します。メインメニューの各機能(P.394参照)から12件まで登録できます。

プライベートメニューから機能を選択する

1 (MENU)▶(MENU)(プライベート)

プライベートメニューが表示されます。

●(iα)(設定)を押すとプライベートメニュー一覧画面が表示されます。

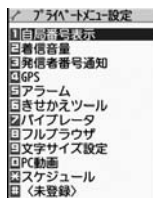
●15秒以上ボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。

プライベートメニュー

2 **アイコンを選択**

選択した機能の画面が表示されます。

プライベートメニュー一覧を表示する (MENU)(5)(2)

1 (MENU)▶**設定**▶**ディスプレイ**▶**プライベートメニュー設定**

プライベートメニュー一覧画面

プライベートメニュー一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
メニュー登録	プライベートメニューによく使う機能を登録します。 ▶登録する機能を選択 ●(◎)を押すとメニュー機能の大項目もしくは中項目ごとに登録できる機能が表示されます。(◎)を押して登録する機能を選びます。
背景イメージ変更	▶フォルダを選択▶画像を選択
デスクトップ貼付	P.114参照

つづく

機能メニュー	操作・補足
メニュー初期化	プライベートメニューをお買い上げ時の項目に戻します。 ▶YES
1件解除	▶YES
全解除	▶YES

お知らせ

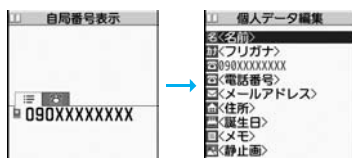
<メニュー登録>
- 「ｉモード」、「ｉアプリ」および「メール」はメニュー機能の大項目のみ登録できます。その中の各機能は登録できません。

<背景イメージ変更>
- 設定できる画像は、画像サイズが待受(480×854)以下で最大300KバイトまでのJPEG画像、GIF画像です。それ以外の画像は「サイズ変更」または「トリミング」を行って設定してください。ただし、アニメーションGIFを設定した場合は、最初の1コマ目が表示されます。

<自局番号表示>

自分の名前やメールアドレスなどを登録する

契約の電話番号(自局番号)の他にお客様の個人データとして名前とフリガナ、電話番号(3件)、メールアドレス(3件)、住所、誕生日、メモ、静止画を登録できます。
メールアドレスを変更またはシークレットコードを登録したときは、本機能のメールアドレスも変更してください。

1 MENU▶**電話帳**▶**自局番号表示**
▶✉(編集)▶**端末暗証番号を入力**

自局番号表示画面

P.84手順2の操作を行って個人データを登録します。
- 自局番号は変更、削除できません。
- 「全データ表示」などの操作で、すでに端末暗証番号を入力している場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。

2 ✉(完了)**を押す**

お知らせ
- 自局番号以外の項目はFOMA端末に登録されるため、他のFOMAカードをセットしても表示されます。

お知らせ
- 本機能で変更するメールアドレスは、自局番号表示で表示するメールアドレスだけです。実際のメールアドレスは変更されません。

自局番号表示画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
個人データ編集	P.342手順1へ進みます。
文字サイズ変更	P.92参照
全データ表示	登録した電話番号やメールアドレスなどをすべて表示します。 ▶**端末暗証番号を入力** Oでそれぞれの項目を表示します。
名前コピー	名前をコピーします。
電話番号コピー・メールアドレスコピー・住所コピー・誕生日コピー・メモコピー	各項目をコピーします。 ●表示した項目によって機能メニュー項目は異なります。
赤外線送信	P.305参照 ●📷(赤外線)を押しても赤外線送信できます。
iC送信	P.306参照 ●MENU(iC送信)を押してもiC送信できます。
microSDへコピー	P.295参照
電話番号削除・メールアドレス削除・住所削除・誕生日削除・メモ削除・静止画削除	各項目を削除します。 ▶YES ●端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、端末暗証番号を入力します。 ●表示した項目によって機能メニュー項目は異なります。
個人データ初期化	自局番号以外の電話番号やメールアドレスなど、登録したすべての個人データを初期化(削除)して、お買い上げ時の状態に戻します。 ▶YES ●端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、端末暗証番号を入力します。
Bナンバー自動取得	2in1契約の問い合わせを行い、契約済みの場合はBナンバーを保存します。

＜通話中音声メモ＞＜音声メモ録音＞

音声電話中、待受中の声を音声メモとして録音する

音声メモには、音声電話中に相手の声を録音する「通話中音声メモ」と、待受中に自分の声を録音する「音声メモ録音」の2つがあります。
録音できる件数は、「通話中音声メモ」または「音声メモ録音」のどちらか一方で1件、録音時間は約3分間です。

- 「通話中音声メモ」「音声メモ録音」の再生／消去についてはP.68参照。

音声電話中に相手の声を録音する

1 音声電話中
▶▼(1秒以上)または✉(メモ)

「ピッ」と鳴って録音が始まります。

- 録音を途中で止めるときは◎(停止)、CLRまたは▼(1秒以上)を押します。
- 録音中に☎を押すと、録音が停止し、通話が終了します。
- 録音時間(約3分間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
  録音が終わると「ピピッ」という音が鳴り、通話中の画面に戻ります。

お知らせ

- 「通話中音声メモ」「音声メモ録音」のどちらかがすでに保存されているときに録音をした場合は、再生･未再生に関わらず上書きされます。
- 機能メニューの各項目の操作中などは録音できません。

待受中に自分の声を録音する　MENU 5 5

1 MENU▶LifeKit▶伝言メモ／音声メモ
▶音声メモ録音▶YES

「ピッ」と鳴って録音が始まります。送話口に向かってお話しください。

- 録音を途中で止めるときは◎(停止)、CLRまたは☎を押します。
- 録音時間(約3分間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
  録音が終わると「ピピッ」という音が鳴り、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴ったとき、マルチタスクで画面を切り替えたときには、録音が中断されます。

＜動画メモ＞

テレビ電話中の映像を動画メモとして録画する

テレビ電話中の受信映像を音声とともに録画できます。
1件につき約20秒間、5件まで録画できます。

- 「動画メモ」の再生／消去についてはP.69参照。

1 テレビ電話中▶▼(1秒以上)

「ピッ」と鳴って録画が始まります。録画が始まると「●REC」が表示されます。

- 相手には「画像選択」の「動画メモ選択」で設定した静止画が表示されます。
- 録画を途中で止めるときは◎(停止)または▼(1秒以上)を押します。
- 録画中に☎を押すと、録画が停止し、通話が終了します。
- 録画時間(約20秒間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
  録画が終わると「ピピッ」という音が鳴り、通話中の画面に戻ります。

お知らせ

- 「動画メモ」がすでに5件保存されているときに録画をした場合は、再生･未再生に関わらず最も古い「動画メモ」に上書きされます。
- 機能メニューの各項目の操作中などは録画できません。

＜通話時間／料金＞

通話時間と通話料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。
- 通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間(テレビ電話通話時間＋64Kデータ通信時間)が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内(104)などに通話した場合は、「￥0」もしくは「￥＊＊」が表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金(2004年12月から積算)が表示されます。
  ※901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金は表示できません。(FOMAカードには蓄積されています。)
- 表示される通話時間および通話料金はリセットできます。

つづく

1 MENU▶設定▶時間／料金▶通話時間／料金

前回通話時間

音声通話　:直前の音声電話の通話時間を表示します。
デジタルAV呼　:直前のテレビ電話の通話時間を表示します。
非制限デジタル　:直前の64Kデータ通信の通話時間を表示します。

前回通話料金

音声通話　:直前の音声電話の通話料金を表示します。
デジタルAV呼　:直前のテレビ電話の通話料金を表示します。
非制限デジタル　:直前の64Kデータ通信の通話料金を表示します。

積算通話時間

音声通話:積算時間リセット時から現在までの音声電話の通話時間を表示します。
デジタル:積算時間リセット時から現在までのテレビ電話、64Kデータ通信の通話時間を表示します。

積算通話料金

積算通話料金リセット時から現在までの通話料金を表示します。

時間リセット日時

前回積算時間リセットを行った日付時刻を表示します。

料金リセット日時

前回積算通話料金リセットを行った日付時刻を表示します。

お知らせ

- 前回通話時間が「19時間59分59秒」、積算通話時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントされます。
- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合は、それぞれの通話時間・通話料金としてカウントされます。「切替中」(P.52参照)が表示されている間は料金は課金されません。
- プッシュトーク、iモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。iモード利用料などの確認方法については、iモード契約時にお渡しする「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。
- 着もじの送信料金はカウントされません。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 電源を切るかFOMAカードを外すと、前回通話時間の表示は「0秒」、前回通話料金の表示は「￥＊＊」になります。

＜積算リセット＞　MENU 6 0

積算時間／積算通話料金をリセットする

1 MENU▶設定▶時間／料金▶積算リセット▶端末暗証番号を入力▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
積算時間リセット	前回通話時間および積算通話時間を「0秒」に戻します。 ▶YES
積算通話料金リセット	前回通話料金および積算通話料金を「￥0」に戻します。 ▶YES▶PIN2コードを入力 ●PIN2コードについてはP.118参照。

＜通話料金通知＞

通話料金の上限値を設定する

積算通話料金の上限値を設定し、金額が上限料金を超えたときにお知らせします。「自動リセット設定」を「ON」に設定すると、毎月1日の0時に積算通話料金がリセットされ、「￥」が消去されます。

1 MENU▶設定▶時間／料金▶通話料金通知▶端末暗証番号を入力▶ON・OFF▶上限料金を入力

- 10円から100000円まで、10円単位で設定できます。

2 通知方法を選択▶ON・OFF▶PIN2コードを入力

- PIN2コードについてはP.118参照。

■積算通話料金が上限料金を超えたときは
「￥」が表示されます。通知方法に「アイコン＋アラーム」を設定している場合は、待受画面に戻ったときに通話料金が上限料金を超えた旨のメッセージが表示され、スピーカーから警告音が鳴ります。

上限値アイコン消去

通話料金通知で表示された「￥」を消去します。

1 MENU▶設定▶時間／料金▶上限値アイコン消去▶端末暗証番号を入力

お知らせ

- 積算通話料金リセット、設定リセット、端末初期化を行うと、「￥」は消去されます。
- 上限値を超えた場合、設定した上限値で再度通知させたいときは、積算通話料金をリセットしてください。

<電卓>

電卓を使う

電卓を表示して四則演算(+、−、×、÷)を行います。
10桁まで表示できます。

1 MENU▶**ステーショナリー**▶**電卓**
▶**以下の操作で計算を行う**

キー	操作	キー	操作
(右)	+	(上)	×
(左)	−	(下)	÷
(決定)	=	(メール)	小数点
(iα)	%		
CLR	C(クリア):直前に入力した数字を取り消します。		
	AC(オールクリア):入力した計算をすべて取り消します。		

お知らせ

●計算の途中に負数は入力できません。
●計算結果が10桁を超えた場合や0で割り算をするなど誤った計算を行った場合は、「.E」を表示します。

<テキストメモ>

テキストメモを作成する

テキストメモを20件まで登録できます。

1 MENU▶**ステーショナリー**▶**テキストメモ**
▶**<未登録>を選択**▶**テキストメモを入力**

●全角256文字/半角512文字まで入力できます。
●登録済みのテキストメモを選択すると登録内容を確認でき、(決定)(編集)を押すと編集できます。

テキストメモ表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	P.345「テキストメモを作成する」手順1へ進みます。
iモードメール作成	テキストメモの内容が本文に入力されたiモードメールを作成します。 P.172手順2へ進みます。 ●(メール)(✉)を押してもiモードメールを作成できます。
スケジュール作成	テキストメモの内容が入力されたスケジュールを作成します。 ▶**スケジュール** P.337手順1へ進みます。
デスクトップ貼付	P.114参照
赤外線送信	P.305参照
赤外線全件送信	P.305参照
iC送信	P.306参照
iC全件送信	P.307参照
microSDへコピー	P.295参照
テキストメモ情報	テキストメモの作成日時、最終更新日時、分類を表示します。
分類	テキストメモをカテゴリー別に設定します。 ▶**分類を選択** ●設定しない場合は「なし」になります。
1件削除	▶YES
選択削除	▶**削除したいテキストメモにチェック** ▶(メール)(完了)▶YES
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶YES

<FOMAカード(UIM)操作>

FOMAカードと本体の間でデータをコピー・削除する

FOMA端末(本体)とFOMAカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりします。また、FOMA端末(本体)やFOMAカードに記憶している電話帳やSMSのデータを削除します。
FOMAカードには、受信したSMSと送信したSMSを合わせて20件まで保存できます。

データをコピー・削除する

1 MENU▶**電話帳**▶**FOMAカード(UIM)操作**
▶**端末暗証番号を入力**

端末暗証番号を入力すると「(アイコン)」が表示され、電話やメールの機能は使えません。
●端末暗証番号入力前に着信があった場合は、FOMAカード(UIM)操作が終了します。

2 **コピー・削除**▶**コピー先や削除元を選択**
▶**電話帳・SMS**

電話帳
電話帳を検索し、一覧画面を表示します。

SMS
受信BOX . . . 受信BOX内のデータをコピー・削除します。
送信BOX . . . 送信BOX内のデータをコピー・削除します。
フォルダを選択し、一覧画面を表示します。
●FOMAカードへ移動・コピーする場合、2in1が「ON」のときは2in1の管理情報が削除される旨の確認画面が表示されます。

つづく

3 コピー・削除したいデータにチェック ▶[✉]([完了])▶YES

電話帳またはSMS一覧表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
コピー開始・削除開始	コピー・削除を開始します。
1件選択	1件選択します。
タブ内全選択	表示しているタブ内のすべての電話帳を選択します。
全選択	全選択します。
1件解除	選択を解除します。
タブ内全選択解除	表示しているタブ内の電話帳の選択を解除します。
全解除	すべての選択を解除します。
詳細表示	電話帳またはSMSの詳細画面を表示します。

電話帳の機能メニューからコピーする

1 電話帳詳細画面▶[iα]([機能])▶FOMAカードへコピー・本体へコピー▶YES

メールの機能メニューから移動・コピーする

1 送信メール一覧画面・送信メール詳細画面・受信メール一覧画面・受信メール詳細画面▶[iα]([機能])▶移動／コピー▶FOMAカード操作▶移動またはコピーする方法を選択▶YES

「✉(青色)」はFOMA端末内のSMSを表します。
「▯」はFOMAカード内のSMSを表します。

お知らせ

- FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末(本体)に登録された2つ目以降の電話番号／メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。また、住所などFOMAカードに登録できないデータもコピーできません。
- FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、絵文字がスペースに変換されます。
- FOMA端末(本体)からFOMAカードへ電話帳をコピーする場合、名前は全角10文字/半角21文字まで、フリガナは半角12文字までのデータが全角カタカナに変換されてコピーされ、残りのデータはコピーされません。

お知らせ

- シークレットデータとして登録された電話帳は、シークレットモードまたはシークレット専用モードに設定中でもFOMAカードへコピーできません。
- FOMA端末(本体)とFOMAカードに同じグループ名を設定している場合は、電話帳のグループ設定は保持されます。FOMA端末(本体)とFOMAカードに同じグループ名を設定していない場合は、グループは設定されません。
- SMS送達通知の移動・コピーはできません。
- FOMAカードへ移動・コピーしたSMSは保護できません。保護しているSMSをFOMAカードへ移動・コピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。また、返信や転送のマークは既読のマークになります。
- FOMA端末からFOMAカードへSMSを移動・コピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダで確認できます。
  また、2in1を利用中は、現在のモードに関わらず、すべてAナンバーのSMSとして保存されます。
- FOMAカードからFOMA端末へSMSを移動・コピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダへ移動・コピーされます。

平型スイッチ付イヤホンマイクで電話をかける／受ける

イヤホンマイク／AV出力端子(P.25参照)のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)の接続プラグを差し込んで使用します。

平型スイッチ付イヤホンマイクで電話をかける

1 電話番号を入力
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示

2 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す▶相手が出たら話す

「ピッ」という音が鳴り、電話がつながります。

- ヨコオープンスタイルでも利用できます。ただし、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押してテレビ電話をかけることはできません。
- FOMA端末の操作でも、電話をかけることができます。

3 お話が終わったら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話を終了する

「ピピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

平型スイッチ付イヤホンマイクで電話を受ける

1 着信中▶平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

「ピッ」という音が鳴り、電話がつながります。
テレビ電話の場合、相手にはカメラ映像が送信されます。テレビ電話中にMENUを押してカメラ映像と代替画像を切り替えることができます。(P.70参照)

- FOMA端末を閉じた状態やヨコオープンスタイルでも利用できます。ヨコオープンスタイルでテレビ電話を受けた場合、相手には代替画像が表示されます。
- FOMA端末の操作でも、電話を受けることができます。
- 「オート着信設定」を「オート着信あり」に設定していると、呼出時間経過後に自動的に応答します。

2 お話が終わったら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話を終了する

「ピピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

お知らせ

- 「ボタン確認音」の設定に関係なく、電話がつながったときの音や電話が切れたときの音は鳴ります。
- 着信音が鳴ってから平型スイッチ付イヤホンマイクを接続するときに、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。
- 応答保留中、通話保留中に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すと、保留を解除できます。(テレビ電話を保留していた場合、カメラ映像が送信され、テレビ電話が開始されます)
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。
- キャッチホンを契約され、通話中に「マルチ接続中」と表示されている場合は、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話する相手を切り替えることができます。ただし、スイッチでは終了できません。
- 通話中に▲(音量を上げる)、▼(音量を下げる)を押すと、音量調節ができます。

<イヤホンスイッチ発信設定>

イヤホンをつないで電話をかけるときの相手を選ぶ

「イヤホンスイッチ発信設定」を「音声発信」に設定しておくと、待受画面で平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)のスイッチを押して音声電話の発信が行えます。

1 MENU▶設定▶その他▶イヤホンスイッチ発信設定▶音声発信・OFF

- ✉(確認)を押すと現在設定している電話帳を確認できます。

2 電話帳を検索▶電話帳を選択

お知らせ

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号が設定されます。
- 設定した電話帳を削除した場合、メモリ番号999の電話帳が自動的にイヤホンスイッチ発信設定に登録されます。

<オート着信設定> MENU 9 4

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときに着信があった場合、設定した呼出時間が経過すると自動的に応答します。

1 MENU▶設定▶着信▶オート着信設定▶オート着信あり・オート着信なし▶呼出時間(秒)を入力

- 「001」〜「120」の3桁を入力します。
- 遠隔監視設定、オート着信設定、伝言メモ設定の応答時間・呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。

お知らせ

- テレビ電話をオート着信した場合、相手には代替画像が送信されます。テレビ電話中にMENUを押して代替画像とカメラ映像を切り替えることができます。(P.70参照)
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスとオート着信設定を同時に設定する場合、オート着信設定を優先させるには、オート着信設定の呼出時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを着信中に接続しても、オート着信は動作しませんが、着信中に接続を外すとオート着信は動作します。
- 64Kデータ通信中や平型AV出力ケーブル(別売)接続中は、オート着信は行われません。

<Bluetooth>

Bluetoothを利用する

Bluetooth機器どうしをワイヤレスで接続できます。例えばFOMA端末とBluetoothヘッドセット(市販品)をBluetoothで接続すると、FOMA端末を鞄などに入れたまま通話をしたり音楽を聴いたりできます。

- ●Bluetooth接続を使用すると電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。
- ●すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

Bluetoothでできること

FOMA端末では、ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービス、オーディオサービス、ダイヤルアップ通信サービス、オブジェクトプッシュサービス、シリアルポートサービスの6つのサービスを利用できます。また、オーディオサービスではオーディオ/ビデオリモートコントロールサービスも利用できる場合があります。(対応しているBluetooth機器のみ)

対応バージョン
Bluetooth標準規格Ver.2.0+EDR準拠
対応プロファイル(対応サービス)
HSP:Headset Profile (ヘッドセットプロファイル) HFP:Hands-Free Profile (ハンズフリープロファイル) A2DP:Advanced Audio Distribution Profile (アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル) AVRCP:Audio Video Remote Control Profile (オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル) DUNP:Dial-up Networking Profile (ダイヤルアップネットワーキングプロファイル) OPP:Object Push Profile (オブジェクトプッシュプロファイル) SPP:Serial Port Profile (シリアルポートプロファイル)

■ヘッドセットで通話する

Bluetoothヘッドセット　F01(別売)やBluetoothヘッドセット(市販品)とFOMA端末をBluetoothで接続すると、ワイヤレスで通話できます。

・ご利用にはヘッドセットサービスを使います。

■ハンズフリーで通話する

カーナビなどのBluetooth対応機器(市販品)とFOMA端末をBluetoothで接続すると、カーナビなどのマイクとスピーカーを利用してハンズフリーで通話できます。

・ご利用にはハンズフリーサービスを使います。

■オーディオ機器で再生する

ワイヤレスイヤホンセット　P01(別売)やBluetooth対応オーディオ機器(市販品)とFOMA端末をBluetoothで接続すると、高音質なステレオサウンドをワイヤレスで再生できます。

ただし、ワンセグやビデオの音声に関しては対応する機器が制限されます。(詳しくは「Bluetooth機器を使ってワンセグの音声を再生する」のお知らせ参照。)

・ご利用にはオーディオサービスを使います。

■ワイヤレスで通信する

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をBluetoothで接続すると、FOMA端末をモデム代わりにしてパケット通信や64Kデータ通信を行えます。

・ご利用にはダイヤルアップ通信サービスを使います。

・詳しくはPDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

■Bluetoothで電話帳を送信する

Bluetooth機器とFOMA端末をBluetoothで接続して、電話帳データを送信できます。電話帳の機能メニューから送信します。

・ご利用にはオブジェクトプッシュサービスを使います。

■ｉアプリからBluetoothを利用する

Bluetoothを利用して他の携帯電話やBluetooth対応機器と接続することにより、ｉアプリで対戦ゲームを行ったり、データを管理したりできます。

・ご利用にはシリアルポートサービスを使います。

■Bluetooth機器から出力される音

		接続しているサービス		
		HSP	HFP	A2DP
音声電話発信音		○	○	×
音声電話・テレビ電話着信音		○※1※2	○※2	×
音声電話・テレビ電話時の呼び出し音		○	○	×
音声電話・テレビ電話時の相手の音声		○	○	×
音声電話時の相手の伝言メモの音声		○	○	×
ワンセグの音声		×	×	○
ｉモーション再生音		×	×	○※3
ビデオ再生音		×	×	○
PC動画再生音		×	×	○
ミュージックプレーヤー再生音		×	×	○
Music&Videoチャネル再生音		×	×	○
アラーム通知音	通知優先	○※4	○※4	○※6
	操作優先	×※5	×※5	×※5
メール着信音	通知優先	×	×	○※6
	操作優先	×※5	×※5	×※5

その他の便利な機能

	接続しているサービス		
	HSP	HFP	A2DP
プッシュトーク着信音	×	×	○※6

○：Bluetooth機器から出力されます
×：Bluetooth機器からは出力されずFOMA端末から鳴ります
※1 「イヤホン切替設定」を「イヤホン+スピーカー」に設定していると、Bluetooth機器、FOMA端末の両方から着信音が鳴ります。
※2 「着信音送出設定」を「送らない」に設定している場合、FOMA端末から着信音が鳴ります。
※3 サイトから取得中に再生しているｉモーションの場合は鳴りません。
※4 通話中のみBluetooth機器から鳴ります。Bluetooth機器から鳴る音はアラーム音に設定した音ではなく「ピッピピッ」という通知音が鳴ります。
※5 待受画面以外を表示中はアラーム通知音／メール着信音は鳴りません。
※6 ミュージック再生中の場合のみ鳴動します。
- お使いのBluetooth機器によっては、上記の動作にならない場合があります。

お知らせ
- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。

Bluetooth機器取扱上のご注意

■良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。FOMA端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。
特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
- 他の機器（電気製品／AV機器／OA機器など）からなるべく離して接続してください。（電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。）近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。（UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります。）
- 放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器を鞄やポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器とFOMA端末の間に身体を挟むと通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

■無線LANとの電波干渉について
Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
- FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切ってください。

■Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。
場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
・電車内　・航空機内　・病院内
・自動ドアや火災報知機から近い場所
・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Bluetooth利用の流れ

Bluetooth機器を利用するには、あらかじめFOMA端末にBluetooth機器を登録し、各機能に対応したサービスで接続する必要があります。

<例>ワイヤレスイヤホンセット　P01（別売）との接続

ワイヤレスイヤホンセット　P01をFOMA端末に登録する（P.350参照）

利用したい機能に対応したサービスで接続する（P.350参照）

Bluetoothを利用して通話したい	Bluetoothを利用してワンセグの音声・動画やビデオの音声・音楽などを再生したい

ハンズフリーサービスで接続する	オーディオサービスで接続する

ワイヤレスイヤホンセット　P01を使って通話する（P.351参照）	ワイヤレスイヤホンセット　P01を使ってワンセグの音声を再生する（P.352参照）
	ワイヤレスイヤホンセット　P01を使って動画やビデオの音声・音楽などを再生する（P.352参照）

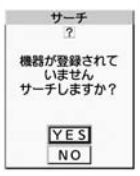
Bluetooth機器を登録する

Bluetooth機器をFOMA端末に登録します。10件まで登録できます。

1 **MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶登録機器リスト▶YES**

FOMA端末の周辺にあるBluetooth機器を探します。登録したいBluetooth機器は、あらかじめ登録待機状態にしておいてください。

Bluetooth機器が見つかると、登録機器リスト画面に最大20件まで表示されます。

- 登録機器リスト画面で ✉(サーチ)を押しても、Bluetooth機器を検索します。
- すでにBluetooth機器を登録している場合は、登録機器リスト画面が表示され、登録しているBluetooth機器が表示されます。

2 **登録したいBluetooth機器を選択▶YES▶端末暗証番号を入力**

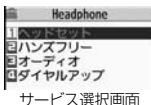
3 **Bluetoothパスキーのテキストボックスを選択▶Bluetoothパスキーを入力▶確定**

- 半角英数字で16文字まで入力できます。
- Bluetoothパスキーについては Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

4 **接続したいサービスを選択**

Bluetooth機器と接続され「(青色)」が点滅します。一定時間、Bluetooth機器との通信がないと、低消費電力状態となり「(黒色)」の点灯に変わります。

サービス選択画面

- 複数のサービスで接続できるBluetooth機器の場合は、続けて別のサービスにも接続するかどうかの確認画面が表示されます。
- 接続中は「(青色)」、接続待機中は「(グレー)」がサービス名の横に表示されています。
- 「ダイヤルアップ」を選択した場合は、FOMA端末を接続待機中にします。
- 接続を解除するには、接続中のサービスを選択して「YES」を選択します。
- 接続待機中のサービスを解除するには、P.351「Bluetooth機器を接続待機にする」参照。

お知らせ

- すでに10件のBluetooth機器が登録されている場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、保護設定、優先機器設定に設定されておらず、接続中または接続待機中以外で通信日時の最も古いBluetooth機器に上書きされます。
- セルフモード設定中はBluetoothは起動できません。

Bluetooth機器と接続する

登録したBluetooth機器とFOMA端末を接続します。

1 **MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶登録機器リスト▶接続したいBluetooth機器を選択▶接続したいサービスを選択**

登録機器リスト画面　サービス選択画面

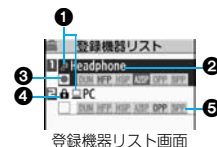
- 詳細については、P.350手順4参照。

■登録機器リスト画面について

登録機器リスト画面

❶機器種別

Bluetooth機器の種別によって以下のアイコンが表示されます。

「」「」「」「」
「」「」「」

❷機器名称

Bluetooth機器の名称が表示されます。
サーチ時に名称が検出できなかった場合はBluetoothアドレスが表示されます。

❸接続状態

:接続中　:未接続
:未検出　NEW:未登録

❹保護

登録内容が保護されている場合に表示されます。

❺プロファイル状態

各プロファイルの状態が色で表示されます。

表示例	文字色	背景色	枠色	状態
HSP	青	グレー	なし	未接続(未登録)
HSP	青	グレー	青	未接続(登録済み)
HSP	白	緑	なし	接続中
HSP	緑	白	緑	接続待機中
HSP	白	薄緑	なし	優先機器設定
HSP	グレー	グレー	なし	未対応

お知らせ

- 接続処理中や切断処理中にBluetooth機器の電源が切れていたり、Bluetooth機器からの応答がない場合は、処理に最大約110秒かかります。

お知らせ

●ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービス、オーディオサービス、ダイヤルアップ通信サービスで接続中にBluetooth機器から切断された場合、接続待機中になります。また、接続中または接続待機中にFOMA端末の電源をOFFにした場合も、次回電源を入れたときに接続待機中になります。

登録機器リスト画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
機器登録	▶端末暗証番号を入力 P.350手順3へ進みます。
優先機器設定	電話がかかってきたときに優先して接続するBluetooth機器に設定します。設定できるのはヘッドセットサービスに対応しているBluetooth機器のみです。 ●すでに他のBluetooth機器を設定していた場合、その設定は解除され、選択したBluetooth機器が優先機器に設定されます。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
保護／解除	登録したBluetooth機器を削除･上書きされないように保護します。5件まで保護できます。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
機器名称変更	登録しているBluetooth機器の名称を変更します。 ▶機器名称を入力 ●全角16文字/半角32文字まで入力できます。
登録機器削除	登録しているBluetooth機器を削除します。 ▶YES
登録機器情報	Bluetooth機器の機器名称、Bluetoothアドレス、機器種別、対応プロファイルを表示します。
デスクトップ貼付	P.114参照

お知らせ

<機器登録>

●すでに登録済みのBluetooth機器を選択すると登録情報が更新されます。(機器名称を変更していた場合は元に戻ります。)登録済みと異なるプロファイルを選択した場合は、プロファイルが追加登録されます。

<優先機器設定>

●優先機器設定を設定していても、ヘッドセットサービスを接続待機中にしていないと接続されません。また、他のBluetooth機器がヘッドセットサービスで接続中の場合は、接続中のBluetooth機器が優先されます。

<登録機器削除>

●Bluetooth機器の状態が接続中または接続待機中の場合は削除できません。

Bluetooth機器を接続待機にする

登録しているすべてのBluetooth機器の接続状態を各サービスごとに接続待機に設定します。

1 **MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶接続待機▶待機中にしたいサービスにチェック▶✉(完了)**

●解除する場合は解除したいサービスのチェックを外し✉(完了)を押します。

●接続待機中は「(青色)」が点灯します。

FOMA端末のBluetooth機能を停止する

接続中や接続待機中のサービスをすべて停止し、FOMA端末のBluetoothの電源をオフにします。

1 **MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶Bluetooth電源オフ▶YES**

●前回起動していたBluetoothの接続待機を有効にするには「MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶Bluetooth起動」の操作を行います。

ダイヤルアップ登録待機

Bluetooth対応のパソコンやカーナビなどとFOMA端末をワイヤレス接続して、通話や通信を行います。詳しくは、PDF版「パソコン接続マニュアル」の「Bluetooth通信を準備する」をご覧ください。

Bluetooth機器を使って通話する

FOMA端末をBluetooth機器とヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続すると、ワイヤレスで通話できます。

1 **Bluetooth機器とヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスで接続する**

●Bluetoothの接続方法についてはP.350参照。

2 **Bluetooth機器で電話をかけるまたは受ける**

Bluetooth機器で通話中は「」が表示されます。

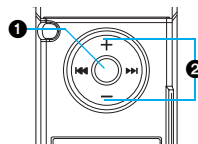
●Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

■ワイヤレスイヤホンセット　P01(別売)を使用するときは

❶着信中に押すと、電話がつながります。待受画面を表示中に1秒以上押すと、電話帳のメモリ番号000に登録されている相手に電話がかかります。
応答メッセージが流れているときや伝言メモの録音･録画中に押しても応答できません。

❷通話中に受話音量を調節します。押し続けると連続して音量調節できます。

●詳しい操作についてはワイヤレスイヤホンセットP01の取扱説明書をご覧ください。

つづく

■FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話するかを切り替えるには

通話中に(☎)を1秒以上押します。

- ヘッドセットサービスで接続してFOMA端末で通話している場合は、Bluetooth機器側からのみ切り替えられます。
- Bluetooth機器側からの操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth機器に切り替えても、USBハンズフリー対応機器や平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)、平型AV出力ケーブル(別売)接続中は、Bluetooth機器で通話できません。
- 遠隔監視中はBluetooth機器に切り替えられません。

お知らせ

- Bluetooth機器をヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中に着信があった場合は、FOMA端末でマナーモードや「着信音量」を「消去」に設定中でもBluetooth機器から着信音が鳴ります。
- Bluetooth機器で通話中はFOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。
- Bluetooth機器で通話中は「クローズ動作設定」の設定に関わらず、FOMA端末を閉じても通話状態は変わりません。
- Bluetooth機器で通話中にBluetoothが切断されたときは、「切断時通話設定」の設定に従って動作します。ただし、FOMA端末を閉じているときに切断され、「切断時通話設定」が「本体で通話継続」に設定されている場合は、「クローズ動作設定」の設定に従います。「クローズ動作設定」が「終話」に設定されている場合は、「ミュート」の動作になります。

Bluetooth機器を使ってワンセグの音声を再生する

FOMA端末をBluetooth機器とオーディオサービスで接続すると、ワンセグの音声をBluetooth機器から出力できます。

1 Bluetooth機器とオーディオサービスで接続する

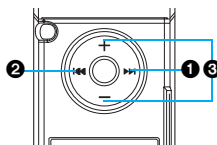
- Bluetoothの接続方法についてはP.350参照。

2 ワンセグを視聴する

Bluetooth機器から音声が出力されます。

- Bluetooth機器への出力を開始するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。
- Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

■ワイヤレスイヤホンセット　P01(別売)を使用するときは

❶次のチャンネルを選局
❷前のチャンネルを選局
❸音量調節
押し続けると連続して音量調節できます。

- 詳しい操作については ワイヤレスイヤホンセット　P01の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみワンセグの音声を再生できます。ワイヤレスイヤホンセット　P01では、ワンセグの視聴画面を表示してからワイヤレスイヤホンセット　P01の操作を行ってください。事前にワイヤレスイヤホンセット　P01で操作していた場合は、音声が再生されないことがあります。
- ワンセグの音声をBluetooth機器から再生中は、FOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。
- 平型ステレオイヤホンセット(別売)や平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続中は、Bluetooth機器で再生できません。
- Bluetooth機器から再生中にワンセグの音声が停止した場合は、以下のことが考えられますのでFOMA端末を確認してください。
  - ･Bluetooth機器との接続が途切れたとき
  - ･GPSの位置提供要求を受信したとき
  - ･メールやメッセージR/Fを受信したとき
  - ･プッシュトーク着信があったとき
  - ･電池切れアラームが鳴ったとき
  - ･「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴ったとき

  このとき、Bluetooth機器によってはオーディオサービスが切断される場合があります。再度、Bluetooth機器から再生するには、オーディオサービスを接続し直す必要があります。

Bluetooth機器を使って動画やビデオの音声・音楽などを再生する

FOMA端末をBluetooth機器とオーディオサービスで接続すると、動画やビデオの音声・ミュージックプレーヤーの音楽などをBluetooth機器から出力できます。

1 Bluetooth機器とオーディオサービスで接続する

- Bluetoothの接続方法についてはP.350参照。
- オーディオサービスを接続待機している状態でBluetooth機器からオーディオサービスの接続を行った場合、ミュージックプレーヤーが自動で起動されます。ただし、待受画面以外を表示中や、他の機能が起動中は、自動で起動されないことがあります。また、ワイヤレスイヤホンセット　P01からオーディオサービスで接続することはできません。

2 動画・ビデオ・音楽を再生する

Bluetooth機器から音が出力されます。

- Bluetooth機器への出力を開始するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。
- 一度、Bluetooth機器をオーディオサービスで接続するとBluetoothの接続履歴として記憶されます。接続履歴がある場合は、オーディオサービスで接続しなくても、ファイルを再生する際に自動でBluetooth機器と接続しようとします。接続が成功するとBluetooth機器から音が出力されます。接続に失敗した場合は、FOMA端末から音を出力するかどうかの確認画面が表示されます。
  接続履歴はBluetooth機器をオーディオサービスで接続するたびに上書きされます。
- Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

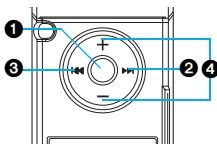
■ワイヤレスイヤホンセット　P01(別売)を使用するときは

❶再生／一時停止
押すごとに再生と一時停止を繰り返します。1秒以上押すと停止になります。

❷次のファイルまたは曲を再生

❸前のファイルまたは曲を再生
再生時間が3秒以上(ビデオは10秒以上)の場合は頭出しになります。

❹音量調節
押し続けると連続して音量調節できます。

- 詳しい操作についてはワイヤレスイヤホンセット　P01の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみビデオの音声を再生できます。ワイヤレスイヤホンセット　P01では、ビデオの再生画面を表示してからワイヤレスイヤホンセット　P01の操作を行ってください。事前にワイヤレスイヤホンセット　P01で操作していた場合は、音声が再生されないことがあります。
- 動画、ビデオの音声や音楽などをBluetooth機器から再生中は、FOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。
- ミュージックプレーヤーやMusic&Videoチャネルをバックグラウンド再生している場合でも、Bluetoothのリモコン操作は有効です。
- 平型ステレオイヤホンセット(別売)や平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続中は、Bluetooth機器で再生できません。

お知らせ

- Bluetooth機器から再生中に動画、ビデオの音声や音楽などが停止した場合は、以下のことが考えられますのでFOMA端末を確認してください。
  - ・Bluetooth機器との接続が途切れたとき
  - ・GPSの位置提供要求を受信したとき
  - ・メールやメッセージR/Fを受信したとき
  - ・プッシュトーク着信があったとき
  - ・電池切れアラームが鳴ったとき
  - ・「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴ったとき

  このとき、Bluetooth機器によってはオーディオサービスが切断される場合があります。再度、Bluetooth機器から再生するには、オーディオサービスを接続し直す必要があります。

Bluetooth設定

1 MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶Bluetooth設定▶以下の操作を行う

- 通話中やデータ通信中は操作できません。

項目	操作・補足
セキュリティ設定	Bluetooth機器で電話帳データを送信するときの認証の有無を設定します。認証する場合はデータを暗号化するかどうかを設定します。 ▶**セキュリティ設定有り・セキュリティ設定無し**▶**暗号化有り・暗号化無し**
全件転送パスワード設定	電話帳を全件送信する際にパスワードを入力するかどうかを設定します。 ▶**パスワード有り・パスワード無し**
サーチ時間	FOMA端末周辺のBluetooth対応機器を検索する時間を設定します。 ▶**サーチ時間(秒)を入力** ●「05」～「20」の2桁を入力します。
着信音送出設定	接続しているヘッドセット機器やハンズフリー機器に、音声電話とテレビ電話の着信音を送信するかどうかを設定します。「優先機器設定」で優先機器を設定している場合は、その機器が接続待機中でも接続を行い着信音を送信します。 ▶**送る・送らない**
切断時通話設定	ヘッドセット機器やハンズフリー機器で通話中にBluetoothが切断されたとき、通話を終了するかFOMA端末で通話するかを設定します。 ▶**通話終了・本体で通話継続**
ヘッドセット操作による発信	ヘッドセット機器のスイッチで電話をかけることができるかどうか設定します。 ▶**有効・無効**

つづく↓

項目	操作･補足
自局情報	FOMA端末に搭載しているBluetoothの機器名称、Bluetoothアドレス、機器種別、対応プロファイルを表示します。また、機器名称の変更もできます。 ●機器名称を変更する場合は、[✉]([編集])を押して機器名称を入力します。全角16文字/半角32文字まで入力できます。

お知らせ

<セキュリティ設定>

●電話帳データを送信するBluetooth機器とオブジェクトプッシュ以外のサービスで接続中のときは、本機能の設定に関わらず認証有り･暗号化有りで送信します。

●接続中や接続待機中のBluetooth機器がある場合は設定できません。

<着信音送出設定>

●ヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中または接続待機中のBluetooth機器がある場合は設定できません。

<自局情報>

●機器名称に絵文字を設定した場合、相手のBluetooth機器によっては正しく表示されない場合があります。

<設定リセット> MENU 2 3

各種機能の設定をリセットする

「機能一覧表」の[　　]の項目をお買い上げ時の状態に戻します。(P.394参照)

1 MENU▶**設定**▶**その他**▶**設定リセット**▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

お知らせ

●Bluetooth機器との接続中または接続待機中はリセットできません。

●「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」または「ダブルセキュリティ」に設定している場合、ICカードロック中はリセットできません。

●設定リセットを行った場合、テロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、[○]を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。

<端末初期化>

登録データを一括して削除する

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

お買い上げ時の状態については「機能一覧表」を参照してください。**(P.394参照)**

●お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。ただし、ダウンロード辞書はお買い上げ時に登録されているものも含めてすべて削除されます。

●お買い上げ時に登録されているｉアプリは削除されません。

●お買い上げ時に登録されているｉアプリに保存されたデータは削除されます。ただし、おサイフケータイ対応ｉアプリに保存されたデータは削除されません。

●保護しているデータも削除されます。

●2in1のモードに関わらず、すべての登録データが削除されます。

●お買い上げ時に登録されているデコメール用のテンプレート、キャラ電、きせかえツール、PDFデータ、デコメ絵文字を削除していても、端末初期化を行うと元に戻ります。ただし、お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は元に戻りません。

●端末初期化を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。

●端末初期化を行っているときは、電源を切らないでください。

●端末初期化を行っているときは、他の機能を使用できません。また、電話の着信やメールの受信などもできません。

1 MENU▶**設定**▶**その他**▶**端末初期化**▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**▶**YES**

初期化が完了すると、自動的に電源が切れたあと、再度電源が入り、「初期値設定」の画面が表示されます。

お知らせ

●Bluetooth機器との接続中または接続待機中は初期化できません。

●「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」または「ダブルセキュリティ」に設定している場合、ICカードロック中は初期化できません。

●FOMAカードやmicroSDメモリーカードに保存･登録･設定されているデータは削除されません。

●パソコンから設定したデータ通信の設定は削除されません。

●ダウンロード辞書やｉアプリを元に戻したいときは、「P-SQUARE」のサイトからダウンロードしてください。ダウンロードには別途通信料がかかります。

●端末初期化を行った場合、テロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、[○]を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。

●端末初期化を行った場合、Music&Videoチャネルの番組は自動取得されなくなりますので、Music&Videoチャネルメニューから設定確認画面へアクセスし、番組設定を反映させてください。

●削除するデータが多いときなどは端末初期化に時間がかかる場合があります。